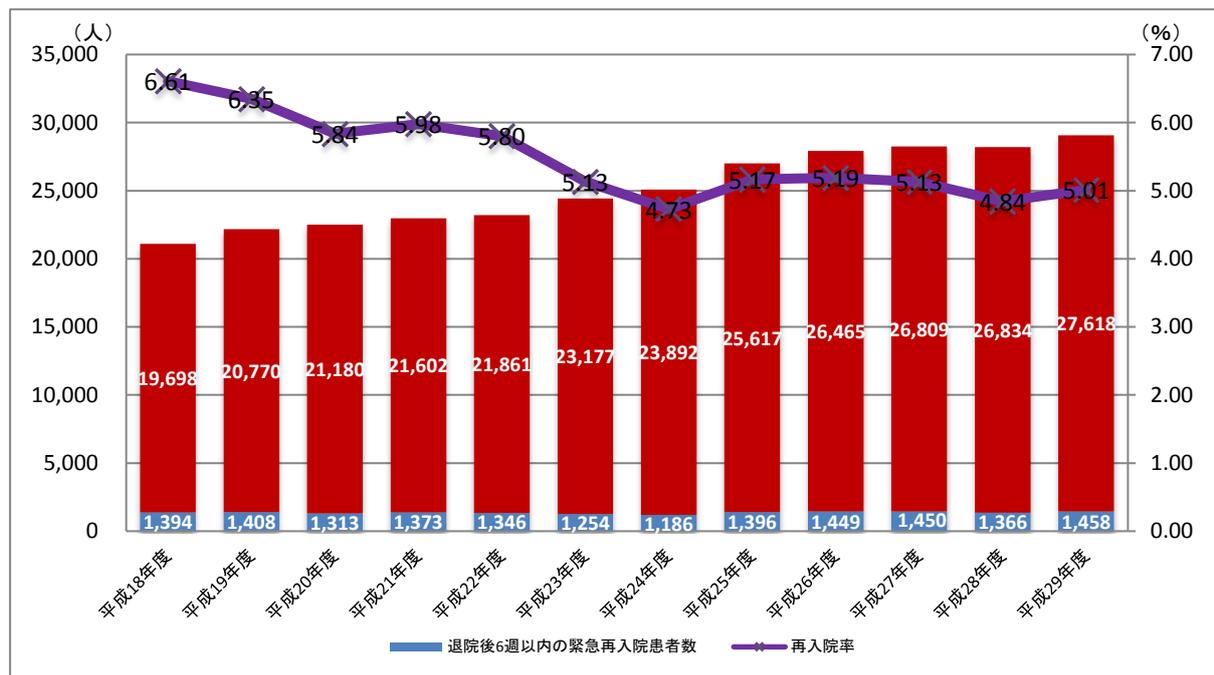


5. 退院後 6 週間以内の緊急再入院率



退院後、予定しない比較的早い段階での再入院は、その前の入院における治療が不十分である、指導が十分されず状態の悪化を招いた等の可能性がある。その割合が高ければ、治療内容の再考も必要となる。また、退院後の計画的でない再入院の期間をどの程度の期間とするのが望ましいか、今後検討する必要がある。

平成 29 年度はほぼ例年並みとなった。退院患者数は年々増加しているが、再入院率は全体的に低下傾向である。これも医療の質が向上した結果であるといえる。

※緊急再入院は、前回の退院後から次の入院までの期間が 6 週間以内で、電子カルテ上、入院予定がなく入院した患者とした。